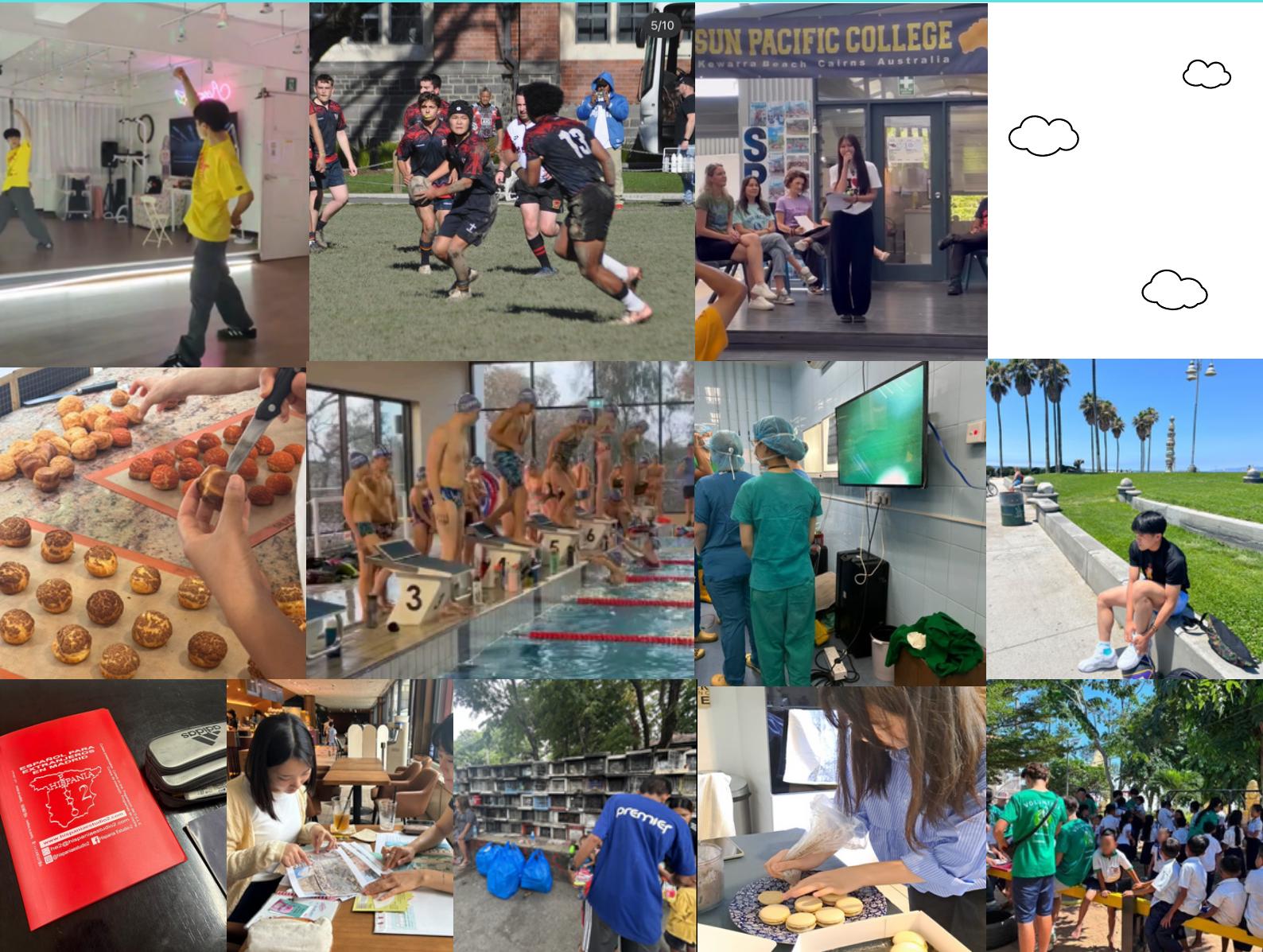


高校生チャレンジ留学 ～HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～

報告書2025



兵庫県

高校生チャレンジ留学

～HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～

プロジェクト概要

人口減少・少子化が進む中、重要な“個の力”。

留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を、県が官民協働で支援し、兵庫で学び、グローバルな視点・能力を持ち国際的に活躍する若者の育成につなげるプロジェクト。

令和7年度の概要

- 期間 約1か月
- 補助人数 20名
- 補助金額 50万円/人（上限）
- 対象者 県内の国公私立の高等学校等に在籍している高校生

R7年度の募集結果

最終応募人数

74人 〔設置種別内訳 公立：41 私立：28 国立：5
学年別内訳 一年：29 二年：36 三年：9〕

地域別内訳

(単位:人)



分野別内訳

(単位:人)



- 3月25日から4月25日まで募集し、合計74人の高校生から応募がありました。
- その内訳を留学先地域別にみると、大洋州への応募が一番多く、続いて欧州、アジア、北米、南米と応募がありました。
- また、分野別では、ボランティア活動に参加する社会貢献分野が最も多い、続いて、ビジネス、芸術、スポーツ、地域産業と、幅広く応募がありました。

R7年度の選考結果

最終選考人数

20人

設置種別内訳 公立：10 私立：9 国立：1
学年別内訳 一年：8 二年：8 三年：4



- 応募総数74名、いずれも、それぞれの高校生の思いのこもった素晴らしい留学計画でした。
- その中から書類選考、面接の結果、チャレンジ精神あふれる20名が選考されました。

留学前研修会

- 令和7年6月22日(日)に県立兵庫津ミュージアムにて、留学前研修会を開催しました。
- 選考された高校生20人のほか、それぞれの留学の活動内容に精通したアドバイザー、寄附企業・団体、兵庫県内の大学に留学中の外国人留学生、昨年度プロジェクトに参加したOB・OG等にお集まりいただきました。
- 研修会中は参加者同士、活発な意見交換や交流が行われ、盛り上がりをみせました。また、アドバイザー等との意見交換会では、留学計画等に対するアドバイスに高校生は真剣に耳を傾けていました。



留学計画等発表



アドバイザー・寄附企業等との意見交換会



外国人留学生、OB・OG等との交流会

帰国後報告会

- 令和7年10月26日（日）に兵庫県立大学新長田ブランチにて、帰国後報告会を開催しました。
- 留学から帰国した高校生やご寄附をいただいた企業・団体の皆様、アドバイザー、当プロジェクトにご協力いただいた方々、外国人留学生、昨年度プロジェクトに参加したOB・OG等にお集まりいただきました。



成果発表全体会



ご寄附をいただいた企業・団体の皆様、
アドバイザー等と高校生の交流会



留学した20人の留学内容

分野	学校	学年	留学先	留学内容
社会貢献	公	2	オーストラリア	自立心や自己表現力を育む等、個性を大切にした保育を日本に取り入れるため、保育の質が高い豪州にて保育ボランティアやインタビューを行う。
	私	3	オーストラリア	移民や難民支援、環境保護に関わるボランティアに参加。当事者や支援する側の方にもインタビューを実施し、移民や難民に対する支援制度の状況を調査する。
	国	1	フィリピン	医療ボランティアのプロジェクトに参加し、医療現場を実際に見ることで開発途上国の現状を分析し、キャリア形成にいかす。
	私	1	スリランカ	現地の病院で基礎医療スキルを学ぶワークショップに参加。地域奉仕活動で住民にヘルスケアを提供するとともに、現場の課題等を調査する。
	公	2	ニュージーランド	LGBTQ問題の先進国の学校で、性の多様性に関するアンケートやインタビューを実施。裁判所等を訪問し、法律の観点からもジェンダー意識について分析する。
	公	3	アメリカ	環境に配慮した観光事業に取り組む現地企業や団体を訪問し、インタビューやボランティア活動等を実施。エコツーリズムの可能性について学ぶ。
	私	1	韓国	子どもへの取組が充実している博物館で、支援が必要な子どもに文化に関わる多様な経験を届ける環境づくりを調査する。
	公	1	フィリピン	NPO団体等のボランティアに参加し、スラム街や貧困地域を訪問。現地の方との交流を通して、世界が抱える貧困問題の現状を調査する。
	私	2	フィリピン	スラム街や孤児院の現状を知るため、ボランティア活動を実施。現地の人へのインタビューを通して、貧困問題における現実的な目標と持続可能な開発について考える。
	私	3	カンボジア	幼児教育や衛生管理に関するボランティアに参加し、教育に関する聞き取り調査を実施。発展途上国の特徴を整理し、日本との違いについて考察する。
スポーツ	公	2	ニュージーランド	ラグビー先進国の強豪校のプログラムに参加。最先端のラグビーの知識やスキルだけではなく、マインドセット方法等を学ぶ。
	公	2	オーストラリア	水泳のレベルが国際的に高い国のスクールで合同練習に参加し、技術を高め、水泳の指導法を学ぶ。
	私	3	イギリス アイルランド	ラグビー発祥の国でラグビーとクラブスポーツの歴史や文化を体験するとともに、現地のレフリーにインタビュー。レフリーとしての在り方を多角的に探究する。
	公	2	アメリカ	バスケットボールの技術のほか語学力・精神力の向上に向けて、トレーニングキャンプ等に参加。メディカルスキルのほかコーチングやトレーナースキルについて学ぶ。
	私	1	スペイン	現地サッカークラブの練習に参加し、トレーニングでサッカーのスキルを高め、理解を深めるとともに異文化と触れ合う。
	公	2	アメリカ	トリッキング競技の発祥地で海外選手と一緒に練習を行い、新しい技や技術を習得するとともにコンペティションにも参加。
ビジネス	公	1	フランス	スイーツの本場のパティシエスクールのインターンシップに参加。スイーツ作りのスキルアップと幅広い知識や技術の習得を目指す。
	私	1	アメリカ	スポーツスクールでアンケート等を実施。選手の価値観を学び、スポーツビジネスを比較分析することで、スポーツによるSDGs社会課題解決を考える。
地域産業	公	1	フランス スペイン	黒豆の栄養価や可能性を科学的にも広めるため、食の選択が多様な国の市場を調査。現地の方と黒豆を使ったメニューを考え、発信活動も行う。
芸術	私	2	韓国	世界中からダンサーが集まるダンススクールでレッスンを受け、ダンスやボーカル等スキルを身に着けながら、オーディションに参加する。

個々の学びを深めるために、 武者修行に挑戦した高校生たちのストーリー

今年は20名の高校生が海外に留学しました。
そのうち10名の高校生のストーリーをご紹介します。



1/10

実際の医療現場から考えた自身のキャリア

留学先



フィリピン

分野



社会貢献

医療ボランティアのプロジェクトに参加

実際に現地に行ってみて医療の現状を知りたい、と思い、今回の留学を決めました。実際に病院でインタビューや施設見学をすると、院内にハエが飛んでいたり、湿度が高い国だけど、妊婦さんが入院する病室にエアコンが設置されていないことがあったり。ウォーターサーバーがない所もあったりと日本との違いにびっくりすることもありました。だけど、想像していたよりも医療機器等が導入されていたり、医療従事者同士でしっかりと連携をとって仕事をされていたり、実際に訪れてみると分からないことがたくさんありました。

私は将来、世界で活躍できる産婦人科医を目指しているのですが、今回の留学で、開発途上国への医療支援で大切なことは、「現地の医療従事者達と協力していく」こと、そして「現地の人達だけでも適切な医療が行える状態にしていくこと」だと感じました。相手の国の現状をきちんと知って、何が一番必要なかを考え、そして相手に寄り添うことができる医師を目指していきたいです。



2/10

トリッキングで世界に挑戦

留学先



アメリカ

分野



スポーツ

トリッキング競技の発祥地で

新しい技や技術を習得する

去年の夏頃に、右足首を怪我してしまってから、慎重になりすぎているのか、やりきれない状態に悔しさを感じていました。アメリカに行って新しい環境に身を置くことで刺激をもらって、楽しいとまた思えるようになりたいと留学を決めました。アメリカの会場は、明らかに雰囲気が違っていて、アットホームで、とにかく盛り上がって、皆で楽しんでいるという感じ。自分の中のモチベーションが一気に上がって、調子も戻ってくるのを感じました。U18（18歳以下）の世界大会にも挑戦し、3位を獲得することができました。現地のトリッキング仲間から、「皆、楽しむためにトリッキングをしているから」と言われて、改めて「楽しむ」ということを学んだ気がしました。

トリッキングは、やっぱりまだマイナーなスポーツかもしれないけど、いつかオリンピック競技とかにもなって欲しいと思います。トリッキングは好きな技やスタイルを組み合わせて自分を表現することができて、皆と一緒に技の成功を喜び、楽しむことができるスポーツなので。これまでに先輩達がトリッキングを広める活動をしてってくれたように、僕も自分にできることを少しづつしていきたいです。



3/10

すべての子どもが「好き」を見つけられるように

留学先



韓国

分野



社会貢献

博物館で文化に関わる多様な経験を伝える環境づくりを調査

幼い頃から、博物館や美術館に行くことが好きで、将来の仕事としては医療に興味があって、色々と調べていたら「韓国の博物館の人が病院で授業をしている」という記事を見つけました。趣味の1つだった博物館と医療が繋がり、今回の留学に挑戦してみようと思いました。韓国では、色々な博物館を回ってインタビューを行いましたが、一人だし、韓国語だけで本当に緊張しました。入院している子ども達へ実施するプログラムについて、博物館の方へインタビューしたところ、「短く、深く、簡単に」取り組めるものにしたり、外に出ることが難しい子どもには、その場所や建物に行きたくなるような説明はなるべく避けるようにする等、配慮していることを教えてくださいました。また、子ども博物館を訪問すると、実際に物を触ったりできる体験型の展示が多く、多くの子どもで賑わっていて、「博物館は明るくて楽しいところ」というイメージが定着しているように感じました。



私自身、「自分が好きと思えることを見つける」こと自体がとても幸せなことだと感じています。今回の留学での学びを活かしつつ、医療だけではなくて、子どもたちが好きなことを見つける第一歩の手助けができるような事ができたら、と思っています。

4/10

黒豆の可能性に迫る

黒豆を使ったメニューを考案し、食の多様性について学ぶ

丹波の特産品である黒豆の可能性を知りたくて、留学を決めました。黒豆を使ってマカロンやわらび餅を作り、現地の人に食べてもらうと、黒豆がお菓子に活用できることにびっくりされました。

農家の方にお話を聞いて生産者の思いを知れたことは勉強になりましたし、フランスの市場では形の不揃いな野菜や豆が普通に売っていて、食べ物の価値は見た目ではないと知れたことは貴重な経験でした。

留学先



フランス
スペイン

分野



地域産業



5/10

留学先



分野

オーストラリア



スポーツ

水泳のレベルが国際的に高い スクールで技術と指導法を学ぶ

水泳のスクールで合同練習に参加

日本とオーストラリアの水泳の指導方法を比べてみて、指導者が選手と対等の立場で選手の思いに「寄り添う」ことが大切だと感じました。将来教員を目指す私にとって、大事な心構えを学ぶ機会になったと思います。

毎日の水泳の練習は大変でしたが、帰国後に出場した大会で自己ベストを更新でき、練習の成果を感じました。

また、留学で出会った仲間は私の一生の宝物です。



6/10

留学先



分野

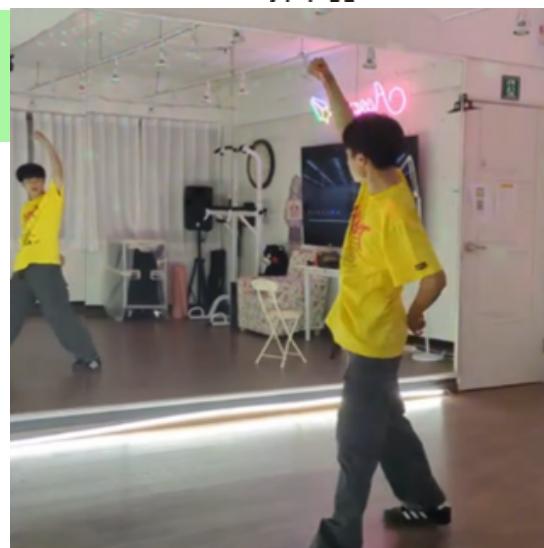
芸術

ダンスだけじゃない、 自分の成長を感じた夏

世界中からダンサーが集まるダンススクールで レッスン

初めての飛行機、初めての留学、初めての一人暮らし。何もかもが初めてづくしの経験で、僕はこの夏一回り大きくなれたような気がします。

留学先では計80時間のダンスレッスンに取り組み、最後は舞台公演で観客を前にダンスを披露しました。オーディションにも挑戦し、自分の成長を感じることができました。将来はダンスで世界中の人に笑顔にしたいです。



7/10

留学先



分野

フィリピン



社会貢献

世界をよりよくするために、 日本と世界の架け橋になる

ボランティアに参加しスラム街や貧困地域を訪問

大人も子供もポジティブに今を精一杯に生きている！現地のスラムへ炊き出しに行った際の私の感想です。また、フィリピンの小さな島であるカオハガン島では、現地の生活体験をさせてもらい、行かなければ知ることのなかった人々の生活にふれることができました。

今、私は学校のボランティア部の活動で、国内外の被災地への募金活動、海岸清掃、ホスピスのお手伝いをしながら、フィリピンの子ども達へ文具の寄附ができるよう動きだしています。



8/10

留学先



イギリス

アイルランド

分野

スポーツ

世界で活躍するレフリーを目指して

ラグビーとクラブスポーツの歴史や文化を体験

僕はラグビーワールドカップでレフリーを務めることができます。そのために必要なことをラグビー発祥の地で歴史的・文化的観点から学ぶべく留学を決意しました。

現地ではレフリーの家へホームステイしたり、地元レフリーとトレーニングを行いました。また、博物館を通して国の歴史や文化がラグビーをはじめスポーツに深く関わっていることを学びました。今後も夢に向かって挑戦を続けていきます。

9/10

留学先



フランス

分野

ビジネス



スイーツの本場で世界から愛されるお菓子作りを学ぶ

本場のパティシエスクールのインターンシップに参加

プロの指導の下、マカロンなどのお菓子作りを体験しました。講師のパティシエにお話を聞くなかで、お菓子作りでは失敗してもあきらめず新しいことに挑戦し続ける姿勢が大切だという言葉が印象的でした。

お菓子作りの奥深さを知れた貴重な体験になりました。この経験を活かして、世界から愛されるお菓子を作りていきたいなと思います。

10/10

留学先



オーストラリア

分野

社会貢献



すべての人にとってより良い世界とは

移民や難民支援、環境保護に関わるボランティアに参加

日本では移民や難民に関する話題を耳にする機会は少ないですが、オーストラリアでは、地域やボランティアが語学の勉強や仕事の練習などの支援を通して、移民のための支援が整っています。

今回の留学を通して、異なる価値観を受け入れ、すべての人にとってより良い世界を作りたいという思いが強くなりました。



ご寄附いただいた皆様へ ～高校生からのメッセージ～

あたたかなご支援をいただき、誠にありがとうございました。



この度は、ご寄附いただきありがとうございました。皆様のおかげで、海外留学を経験することができました。一人で海外に行くこと、留学をすることは私の夢でした。また、支援金により留学の夢が叶ったことは、大きな自信を与えてくれました。このような機会を作っていただき、本当にありがとうございます。

ご寄附いただいた皆様に心から感謝申し上げます。皆様のおかげで大変有意義な留学生活を送ることが出来ました。留学での学びを兵庫県に還元するとともに日本ラグビーの発展に貢献していきます。

この度はご寄附いただき、ありがとうございました。留学では、オーストラリアで移民や難民の方々が抱える課題について学ぶことができました。その現状に触れたことで、社会問題についてより深く考えるきっかけとなりました。今回の経験を、今後の学びや進路に生かしていきたいと思います。

チャレンジを後押ししていただき、本当にありがとうございました。多様な価値観を持つ人たちとの交流を通して学んだ「多面的・多角的な視点を持つことの大切さ」を、将来教員として、兵庫の子どもたちに伝えたいと思います。

この度は、ご寄附いただいた企業、個人の皆様に感謝いたします。この留学で、自分の夢に一步近づく機会を与えていただき、今後の活動に活かしていきたいと思います。そして、いつか自分も同じように、将来子供たちに、夢や希望を与えるような立場の大人になれたらと思います。

この度は僕ら高校生の夢の実現のために、ご協力本当に感謝しています。トリッキングというこのスポーツを知って、そして覚えてもらうことができたら嬉しいです！これからもこの経験を糧に努力を続けていきます。ありがとうございました。

ご寄附してくださった皆様、この度は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。この留学を通して、今まで関わったことがない人とたくさん関わったり、将来の夢もより鮮明になりました。このプロジェクトを、後輩たちにも広めていこうと思います。

この度は、ご支援いただきありがとうございました。皆様の温かい応援のおかげで、私は夢への第一歩を踏み出すことができました。この留学の経験を生かし、これからも挑戦を続けていきたいと思います。そして、いつか兵庫県と韓国をつなぐ懸け橋となれるよう頑張ります。

この留学を通して、自分に自信を持つことや、いろいろなことに挑戦しようと思える勇気をもらい、今後も留学の経験を活かして、兵庫に還元したいと強く思っています。この度は寄附していただいた企業の皆様本当にありがとうございました。

この度はご寄附いただきありがとうございました。私は、今回の留学で、海外に行くという夢、そしてそこでボランティアをしたいという夢も叶えられました。この経験を活かして次はもっと大きな夢を叶えられるよう頑張りたいです。

(お問い合わせ先)

兵庫県産業労働部国際局国際課交流企画班
e-mail:kokusaika@pref.hyogo.lg.jp